



### 公立小中学校・幼稚園で卒業(修了)証書授与式そして入学(園)式を挙

3月14日(金)に中学校の卒業証書授与式が、また、18日(火)に幼稚園の修了証書授与式、そして24日(月)に小学校の卒業証書授与式が挙行されました。さやまっ子の皆さんは、新しい生活への夢と希望に胸をふくらませ、通い慣れた学舎を巣立っていきました。また、4月8日(火)には、小・中学校の入学式、10日(木)に幼稚園の入園式が行われました。



狭山台中学校の卒業式

### 入間川中学校を今春卒業した生徒たちが東日本大震災の被災地を訪問(3回め)

3月16日(日)、同校を卒業したばかりの生徒とその保護者や教員ら総勢39名が、早朝にバスで狭山市を出発。目的は、生徒自身の目で被災の傷跡を直接見て後世へ伝えることで、宮城県の石巻市と東松島市、女川町を訪問し、地元の方から当時の様子を聞いてきました。

東松島市の野蒜小学校では、消防団の方から、住民の避難誘導をした体育館で津波にのまれ、一緒にいた団員3人が殉職されたことなどを聞いて、涙を流した生徒たち。帰りの車中で行われた勉強会で感想を述べ合った真剣な表情は、行きとは一変。生徒たちの胸に「大切なもの」がしっかりと刻まれたことでしょう。



野蒜小学校の屋上で津波が押し寄せたときの様子を聞きました

### 料理を挟み、自国の文化や暮らしを紹介

3月16日(日)／国際交流の集い(狭山元気プラザ)

外国人の方51名と地域の皆さんが、料理などを通じて交流を深めました。10か国の料理を楽しんだ後は、一緒にダンス。会場は、歓声と笑顔でいっぱい。



### 3か月後の収穫が楽しみです

3月23日(日)／じゃがいもを植えよう(堀兼公民館)



小学生とボランティアの大学生が、一緒にじゃがいもを植えました。参加者の大半が初体験でしたが、農家の方の指導で、無事植えつけを完了しました。

## 狭山の今昔物語 Vol.37 — 県立狭山緑陽高等学校 —

狭山緑陽高校の前身は、狭山高校。普通科高校の誘致が念願だった狭山市は、昭和39年10月に請願書を県に提出し、翌年4月に県が新設を決定。旧入間川中学校を仮校舎として開校しました。

平成20年、多種多様な科目を選択して学ぶ総合学科・単位制の狭山緑陽高校に生まれ変わりました。



狭山高校、初の卒業式。校舎の屋上で挙行されました(昭和43年3月)



3月12日、第4回卒業式を挙行。厳粛で感動的な式典でした

### 津南町で小学生が「雪」をテーマに交流

3月1・2日(土・日)／スキー教室とゆきぐに体験(津南町)

狭山市の友好都市の新潟県津南町を二つのグループが訪問しました。狭山市子ども会育成会連絡協議会に加入している小学生たちは「スキースクール」に参加し、スキーやスノーボードなどを体験。

「ゆきぐに体験」のグループは「わらぐつ」と「すげぼうし」姿で、伝統的な「鳥追い行事」に参加しました。

もうじき狭山は新茶の季節。次回は「茶」をテーマに狭山市での交流を予定しています。



インストラクターの指導で滑る児童たち



雪ん子の気分で「鳥追い行事」に参加

### 今度の「お弁当の日」は、私にまかせて!

3月27日(木)／子どもお弁当教室(水富公民館)

子ども達が、バランスのよいお弁当の基本(主食・主菜・副菜)と、お弁当を作る楽しさを学ぶことを目的に開催されたこの教室。参加した16名の小学生は、栄養士の指導でおかずを作り、彩りを考えながら各々のお弁当箱に詰めました。



自分で作ったお弁当の出来栄は?



あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

### 狭山市の誕生から現在までを綴る

3月8日(土)～／写真で見る狭山市の60年(博物館)

市制施行60周年記念事業として開催している「写真で見る狭山市の60年」。昭和から平成へと移り変わる中で、風景も暮らしも変わってきました。私たちの生活に身近なあの場所の懐かしい景色に出会えます。



ほら、ここも昔は何もなかったんだね

### 黄色にピンクに緑…ここに春が来たよ

3月26日(水)／フィンガーペインティング(子育てプレイス水野)

ちょうちゅうやてんとう虫などの形に切り取った色画用紙に、好きな色の絵の具をつけた手のひらでペインティング。それを「春」の絵が描かれたプレイスの壁に張りつけ、さらに絵の具で色をのせると…室内は暖かな春色に染まりました。



絵の具をつけて「ぺたっ」